

<報道発表資料>

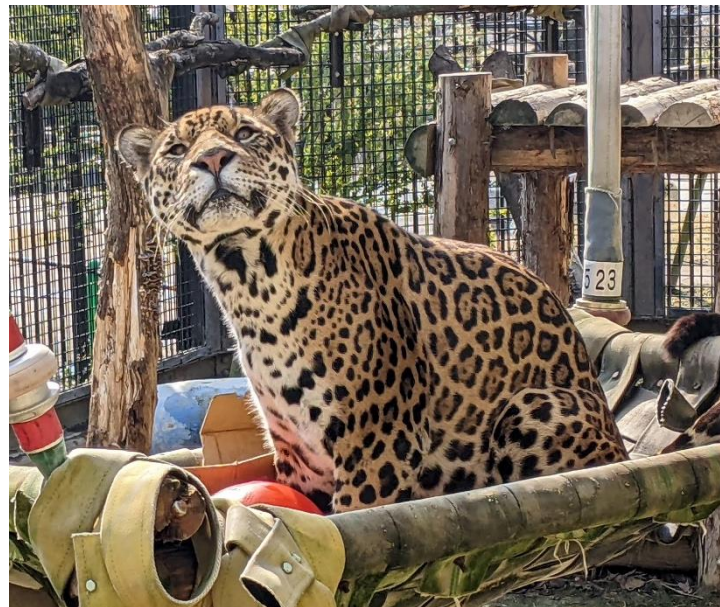
令和7年3月17日
京都市文化市民局動物園

京都市動物園 ジャガーの死亡

令和7年3月17日（月）に、当園で飼育中のジャガーが死亡しましたので、お知らせします。これにより、当園でのジャガーの展示は終了します。

【死亡した個体について】

- 愛称 アサヒ
- 性別 オス
- 死亡日時 令和7年3月17日（月）15時18分
- 死因 胸部腫瘍
- 生年月日 平成26年8月9日（10歳7カ月）大阪市天王寺動植物公園生まれ
- その他 所有者である大阪市天王寺動植物公園から繁殖のためにブリーディングローン（繁殖を目的とした貸借契約）により1歳で当園に来園しました。



ジャガーのアサヒ

【経過】

令和6年6月20日 食欲減退、呼吸促拍を認める。

令和6年7月1日 呼吸促拍、食欲低下、活力消失のため、麻酔下検査実施。前胸部レン

トゲン写真にて不鮮明領域を確認。エコー検査にて胸水の貯留を確認。胸膜炎及び胸水貯留に伴う活力減退、呼吸促拍と判断。

令和 6 年 8 月 1 9 日 前回行った麻酔下検査の結果を踏まえ、胸部レントゲンの再撮影と、胸水の精査を目的に麻酔下検査を実施。胸膜炎及び胸水貯留が継続していることを確認。起源病因は特定できず。

令和 6 年 1 1 月 1 1 日 麻酔下で健康診断実施。胸水の貯留の継続を疑う。

令和 7 年 3 月 1 7 日 症状に対する投薬を継続し、食欲にもムラがある状態が続く中、胸部精査及び胸水抜去のための健康診断を麻酔下で再度実施。予定していた処置終了後、麻酔からの覚醒を待ったが、覚醒せず、1 5 時 1 8 分に、死亡を確認。

< ジャガーの今後の飼育について >

もうじゅうワールドでの飼育展示については、「いのちかがやく京都市動物園構想 2020」中「もうじゅうワールドの方針」に基づき、動物福祉（飼育環境の狭さ等）に配慮して今後は小型～中型のネコ科の飼育展示に変更していく方針であり、令和 2 年 1 月にはライオン、令和 6 年 4 月にはトラの展示を終了しています。同じく大型のネコ科動物であるジャガーについても、現在のところ飼育の予定はありません。

< 参考 >

ジャガー（英名 Jaguar 学名 *Panthera onca* 食肉目 ネコ科）

南北アメリカ大陸で最大のネコ科の動物です。アメリカ・ニューメキシコからアルゼンチン北部にかけて分布し、森林地帯の川辺や沼沢地に生息しています。木登り・水泳が得意で、魚・カメ・カイマン・カピバラ・バクと何でも食べ、しばしば倒した獲物に土をかけて隠します。斑紋はヒョウに似ていますが、輪状の黒斑の中央に 1 ～ 2 個の点状の黒斑があるのでヒョウとは容易に区別できます。

令和 6 年 1 2 月末現在、（公社）日本動物園水族館協会加盟園 1 2 園で 2 0 頭（オス 1 2、メス 8）を飼育しています。

< お問い合わせ先 >

京都市文化市民局動物園総務課

電話：0 7 5 - 7 7 1 - 0 2 1 0